

書道科教育法Ⅱ

科目ナンバリング ESS-312
教職 選択 2単位

福井 淳哉

1. 授業の概要(ねらい)

高等学校芸術科書道教育の理論と指導方法について学ぶ。書道教員として必要な事がらを身につけ実践する。
模擬授業を中心とする。

2. 授業の到達目標

模擬授業を通して、実際の授業運営方法を知る。

3. 成績評価の方法および基準

出席が6割をこえること。その上で、模擬授業・指導案(60%)、作品・授業内小レポート提出(30%)、平常点(10%)で総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
適宜プリントを配布する。

5. 準備学修の内容

各授業までにテキストの該当頁に目を通しておき、授業後には授業で取り組んだ実技課題に自宅で再度取り組むこと。
疑問や興味を持った点についてテキストの関連部分等で学習することが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

書道教育、芸術教育への真摯な姿勢。

7. 授業内容

- 【第1回】 模擬授業を始めるにあたって。
- 【第2回】 模擬授業1
- 【第3回】 模擬授業2
- 【第4回】 模擬授業3
- 【第5回】 模擬授業4
- 【第6回】 模擬授業5
- 【第7回】 模擬授業6
- 【第8回】 模擬授業7
- 【第9回】 模擬授業8
- 【第10回】 模擬授業9
- 【第11回】 模擬授業10
- 【第12回】 板書1
- 【第13回】 板書2
- 【第14回】 板書3
- 【第15回】 まとめ ノート提出 作品提出